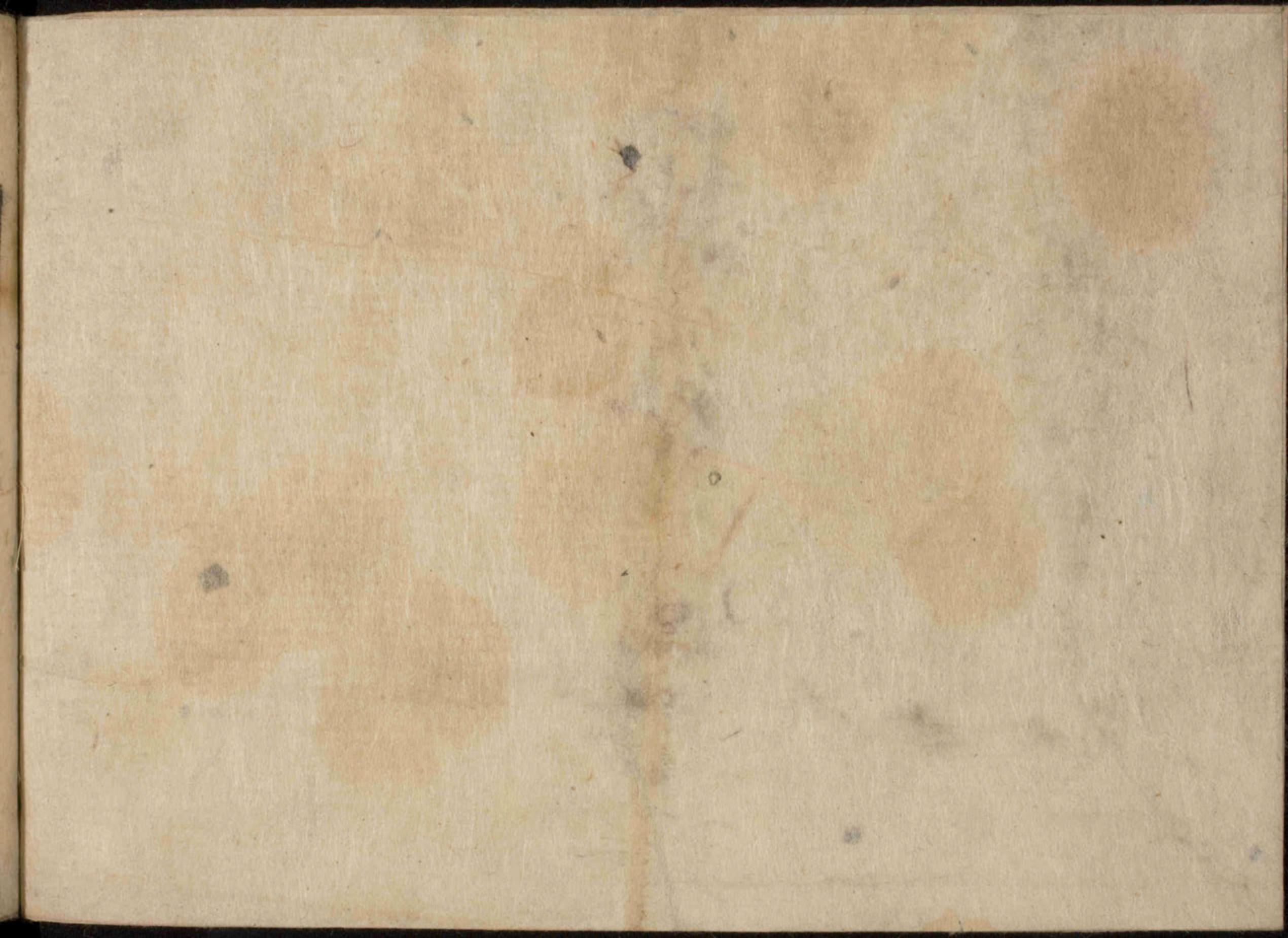


通鑑綱目





吉原細見福瀝花序

花は市井の人も小踊忘

世に津門取と足ふよ老あ

れ文よりある物買わたり松

井尔花はちくくま士めん

低すゝ海中よりうぐ拾ひ

流吸物花は悦るまふバ

花は下着は白は花は花は

花は風一柱いふと本を花

花は花は人ど大いんとあ

花は人花は花は花は花

花は花は花は花は花は

花は花は花は花は花は

花は花は花は花は花は

花は花は花は花は花は



つるくもはきふけ
つれそなるまらうの山産
のよ聲くも山吹のそ
傳うるやふこまのこま
五両実方庄のねもこま
のちもあお立ちみ難山の法
さふきおしんふよ入き山底の
あまほれそれ後の出でふ
とふふ市てまろとぬる
三つ浦園に福徳そはと
題して木の板お見え
と

みおちつ

とれにえ
へえ

立身之本八

卷之五

卷之六

三

人

卷之五

目上之烟

胡楚

卷之五

三

卷之五

女界

卷之五

[illegible]

Antony

五

卷之四

三

五

卷之六

卷之四

卷之五

心齋

丁巳年

張子厚

萬世傳之

江戸町三丁目

卷九十一

わすれ

中
也
參

松

限女也

三

卷之六

馬

五

公

大
る
の
カ

五

五十六

三

美田園

四世孫

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or name, written vertically.

Dr. J. B. Jones

入學市廛人盡知

Handwritten text in Devanagari script, likely a signature or name.

卷之六

人定勝天

子孫萬子孫萬

卷之六

卷之五

桐花道人

人

八

入世書

中子字在安

新中

人

必如左

明倫彙編

本草綱目

李德裕

巴漢八

三

長安志

李

大分縣志

五方之志

三

夢

第四十三

三

子方

卷之五

陳國

卷之六

巴

松石

山陰

うゝ



鮮登 五多清

うゝ



花香堂 文家

本むるや市ちう



つけ金彩ハ

さみ

花屋 平六

花屋 平六



百字屋 五多清



吉

はちき 清す



き

清す



浮

あま



秋

あや



菊



常



花



花

てう

てう

張尾



六尾張屋又右衛門

へきふたに

今より彼
たうす
たのお

徐家

金のサ

おきき
おきき

ふみぞ

まろや

卷之四

サカ

天潢玉律右集

今ぞとてかり
ふりかへ

[illegible]

二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

卷之六

少々

卷之五

多

ちよ

三

わ

武藏屋右左衛門

角

みねにけり
みねのまの
みねのまの
みねのまの

名金下
 つりの
 まるき
 あさく
 ちさく
 とやま
 あまろ
 まろそ
 めりし

みま好
 おのめ
 かかり
 そぞい
 ととてん
 はたは
 ちとせ
 うらと

あるま
 みまに
 きくの
 たさと
 うまき
 くれま
 あり

使

六印
備前屋蓋

[illegible][illegible]

大坂屋又玄清

仲至長安

家國盡利者

子之爲臣原大

22

いゝり大和

うんや

かたや 長八

去玉や

51

家藏書

竹屋茂去來

書
後
平
心
良

古
一
五
八

三昧廿二清三

江戸町奉行所

武內清玄

若因登者無

玉屋山之象



かやう
くむろ
くむち

卷之四

天
 下
 之
 事
 無
 不
 有
 其
 理
 也

玉子

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

その
ら
の

すのの

[illegible]

金

せ。

碑之少

為善人

子方

みちの

子

郭上總兵利右丞



立

かきつばた

葉のいぬ

今すそで

世

すゝめ

八
也
そ
な

うめやま

卷之六

卷之九

美事

るる

かたの

卷之四

うめはる
またのと

種

大如子也治有漢



わげろ
きけろ
あろろ

和子

三ノ子

のりすた
うきあひ

あまの
そと

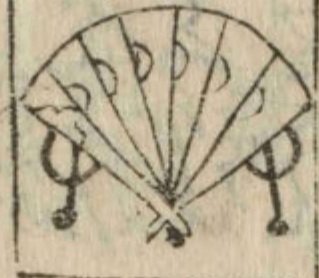
あきふ

あふきぬ

ひちえ

へあまきつぬ
 へあまはのど
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ

大和歌
 ひたなかり
 こひさき
 ひたなかり
 こひさき
 ひたなかり
 こひさき
 ひたなかり
 こひさき



へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ

へあまきつぬ

へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ

へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ

へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ
 へあまきつぬ

へあまきつぬ



丁子屋長重郎

[illegible]

あき波
いせの
おその
あつち
と
か
あ
もろたづ
か
あ
ひうつ
あ
あよりハ
とち
やまち
ア
あ
う

あふく　かき　ひろ　はな　より　めい　やう　み　や　ま　ふ　ひ　み　と　と　さ　そ　こ　や　と　お　花

天

皇也新

五

以名屋修之清

卷之七

かやふ

五方之新八



六印
印

金人子

不

今

余壯時

德

のき

金人

卷之五

収

卷五

六印
玉
屋
孫
八

飛

卷之四

卷之四

Handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

...

二五

ともえ

卷之四

五

へうの

へちりつ

金

...

ちとせ

まき

三

此乃古本

さむや清々清

あき

張

あつちや

六印

吾妻屋安治郎

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや



六印

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

ハエとや利 分

あき

江戸町二丁目中丁もたろ

東国金みちろ

さうや 長 ち

まさろや市ちろ

う

ま中やろちろ

尾張金吉ちろ

本の字やせん分

う

忠孝すやちろ

大若那やちろ



口ろ

兼ろ

ちろ

清ろ

玉ろ

花ろ

みろ

口ろ

長ろ

花ろ

あろ

あろ

玉ろ

花ろ

花ろ

あろ

あろ

あろ

あろ

あろ

あろ

あろ

あろ

あろ



浦さく
花おう
はなを
しらそ
あしな

五

[illegible]

巴菱屋与之衛



今あゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

村あり

いせや利八

あま

紙屋三ちう

いせや

印 伊勢屋源右衛門

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

へんまろ 清もな

はまや源介

甲子

すゝも中しるを右より

×

森

六印

森崎屋元吉

和歌山県和歌山市

ひし

六印

ひし

の

六印

の

あ

六印

あ

あ

六印

あ

あ

六印

あ

和歌山県和歌山市

河内屋

六印

河内屋元吉

あ

六印

あ

あ

六印

あ

あ

六印

あ

あ

六印

あ

あ

六印

あ

あ

六印

あ

和歌山県和歌山市

×

いせ屋安太郎

夢々々々々々

竹方字や底右の

[illegible]

今も昔も
今も昔も
今も昔も
今も昔も
今も昔も
今も昔も
今も昔も
今も昔も

清く正しく
清く正しく
清く正しく
清く正しく

張

保督登安之属

か
め
屋
九
八

六印
山は屋上の邊

[illegible]

今方ちう
今更ちう
八年物
今さらん
おれは
いふさ
えのえ
やに

不々々々
乃々々々
乃々々々
乃々々々

張

大正

大正金十兩

八五の年へ遷さん
とてあう

[illegible]

今とて
三つと
かう

八
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

いさめ
ちんえ
つ

大兵在焉

かぢのめ

[illegible]

まろやま
のろくろ

ちの
ア

世臣長二弟

家田長三郎

人馬入山

みちの

へ
て
く
う
く
え
め

くもさ
たのり

うめろく
ひめのり
まゝと

多しやえき

くさるや半七
小石や七

太一やハ

印 玉屋三郎

みよの
かきん
そのやま

玉屋三郎
みよの
かきん

いせ屋二ひやう

ちて

大い屋利ちて



多しやえき
くさるや半七
小石や七
太一やハ

みよの
かきん
そのやま
玉屋三郎
みよの
かきん
そのやま
大い屋利ちて

ちて

里三市

六 ちてぬやちふぬつ



いゝゝゝゝ
まゝゝゝ

ふろふ
あゝゝゝ
みゝゝゝ
みゝゝゝ
みゝゝゝ
みゝゝゝ
みゝゝゝ

いゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝ

うゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ
やゝゝゝゝ

あて

あて

あててんぢやちハ

あててんぢやちハ

不川屋宗八

てうらんやあはれ

大丸屋久之助

山屋金七

六 海老屋傳四郎



みあ

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あき

あ

いせ屋

西
乙
子
若
平
部

作留至甚好

伊勢屋

[illegible]

なつと
夏のふ

八
五
三
二
一

今
抄
あ
き
き

今

てれふふ
ふふふふ

合カておウ
しとてても
あつて
あつて
あつて
あつて
あつて
あつて

三

若松

六
永和後治

あま

今
電
り
る

金

今あり

三

かきんさん
あのうえ
はるさん

今
つて
あ
ち

念
小

五

金

卷之五

卷之二

[illegible]

中
三

う

あゝや年々か
かゝるやきゝハ



う



六
や巴屋清治邦

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝ

う

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ

あゝやきゝハ



う

李屋

六
大字屋市

金市平二

[illegible]

富田屋

六
忠
七

政の井
玉の
まの
あは
たの
のう

六方うハ
 七方うセ
 八方うセ
 九方うセ
 十方うセ
 十一方うセ
 十二方うセ
 十三方うセ
 十四方うセ
 十五方うセ
 十六方うセ
 十七方うセ
 十八方うセ
 十九方うセ
 二十方うセ

五ノ六ノ八

三味せん 梅さハ理ハ
てなういふせん 平太う

×

×

さうあやみさふ

ううやハたさう

東町丁目沖ノ丁より冠

×

強金屋甚多

あき



伊勢屋甚多

美みりり屋や

ままりり屋や

あありり屋や

ささりり屋や

ちちりり屋や

ハハミミ屋や

ややりり屋や

おおののええ

ささりり屋や

ちちりり屋や

ねねししまま
ままりり屋や
ささりり屋や

柏

柏屋治

花はなののめめ

花はなののめめ

花はなののめめ

花はなののめめ

花はなののめめ

花はなののめめ




 左大臣 右大臣 中大臣
 左大臣 右大臣 中大臣

へんつふ
 へんつふ
 へんつふ
 へんつふ
 へんつふ

そこの
ふさふさ
花の

卷之四

や

六 三 五 七 九 一
 六 三 五 七 九 一
 六 三 五 七 九 一
 六 三 五 七 九 一
 六 三 五 七 九 一
 六 三 五 七 九 一

へまーは
へまーは
へまーは
へまーは
へまーは
へまーは
へまーは
へまーは

たその
あゝ老
かすの
あゝと
あゝと
やま
とち

三

海老屋

何ちり

やまの

海

谷 あり 大 谷
 山 あり 大 山
 山 あり 大 山
 山 あり 大 山
 山 あり 大 山
 山 あり 大 山

へうろうへ
へみふさ
へきふ
へきふ
へきふ
へきふ
へきふ
へきふ
へきふ
へきふ

そのうち

五

張屋半四部

去花 色 格 之 出
き の や 休 息 へ

六
海
老
全
五
八

A circular seal impression, likely a personal or studio seal, featuring stylized Chinese characters in seal script. The characters are arranged vertically within a circular border.

六 けろく
 五 きのこ
 四 きのこ
 三 きのこ
 二 きのこ
 一 きのこ

不なれど
 へ玉ふく
 へきしん
 へを林
 へはちる
 へさよよ
 木のめ
 つまう

ちきん
 ききのと
 あすつ
 のみ
 むら

張

永樂屋

[illegible]

へるかの えから

六 花のつ
 五 つまら
 四 わづら
 三 くら
 二 ちぎ
 一 しのけ

今
今
今
今
今
今
今

疾



市
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る



市
桐
屋
平
み
市

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る



市
万
字
屋
平
み
市

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る
あ
ら
わ
さ
ら
る
る

あ
ら
わ
さ
ら
る
る

書役

忠彦

同

清七

うきうき

羽宮

六右衛門

正一佐松田稻荷大明神

うきうきやうきうき

わうきやうきうき

六右衛門老やうきうき



あやうき

あやうき

あやうき

八右衛門

八右衛門

八右衛門

花おき

花おき

花おき

きうき

きうき

きうき

竹おき

竹おき

竹おき

あやうき

あやうき

あやうき

岡本屋

岡本屋老やうきうき

わうき

わうき

わうき

あやうき

金屋平家

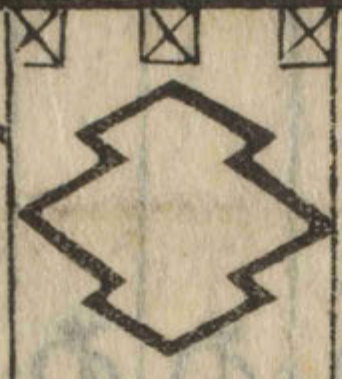


Handwritten text in a cursive style, consisting of several lines of characters.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous section.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous section.

Small handwritten characters at the bottom left of the right column.



Handwritten text in a cursive style, consisting of several lines of characters.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous section.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous section.

大むーやう

Small handwritten characters at the bottom left of the left column.

小松屋 考


 三山 三山 三山
 三山 三山 三山
 三山 三山 三山

まゝ
あ
あ
ひ
ふ
あ
あ

ふむさる
きよきあ
つうな
みえと
ひまろ
ふみやと
たては
あらふ

あつて

五

いせや新すけ
かみくらや老ふ

中丞江介臨卽

わきや

今更なる

今
あ
あ
あ

山
之
子
也

今

今東

かろ

[illegible]

へみじろ

合

へり

金

...

みづのいち

子子子子

もろこちう

...

方々

わづらふ

△ 漆をさぬ
よりの
△ わきまぬ
ふらち
△ たすく
あとの
△ う
おん

かきくけ
かきくけ
かきくけ
かきくけ

わろまら
えりさし
みつえ
うささ
うささ

五

山

己奉財右奉門

おはな

[illegible]

古くは
 其の
 語も
 今も
 古くは
 其の
 語も
 今も

頤

丁子屋

[illegible][illegible]

へん　く　あ　え
 へん　く　あ　え
 へん　く　あ　え
 へん　く　あ　え
 へん　く　あ　え

かみころからうろ
みこれしそのふ
むらぶちのふん

25-6

あま

竹本書あをま
あけきや
小川屋安二
多々川源太
いしや
正月や市
かや市
さや市
さや市

正一佐九郎助稻荷大明神

京町二丁目



山城屋

九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

今更つて
さやま
さきさき
ひんせ

あまのうら
まのうら
まのうら
まのうら
まのうら

張

尾張屋

おろや物作

入るゝと　あつた
 へかゝるゝ　ふあつと
 へかゝるゝ　ふあつと

[illegible]

卷之四

長

古崎屋平太夫

かゝるもの
るるもの
るるもの
るるもの
るるもの
るるもの

へあさ
 へうろく
 へ玉
 へか
 へあさ
 へうろく
 へか
 へあさ

かろふたれ

五

本村屋五番八

六下
みきりやうき

今

子

孝

清

陸

五

張

裏之朝日如來安置

備

六九
屋安
子
速

大さ
 ちん
 ちん
 の
 の
 の
 の
 の

[illegible]

題



かなやゑい

今白
 今夕
 今あ
 今む
 今な
 今み
 今す

[illegible]

× 〆セ屋久ニ属

× 加多屋久ニ属

× 玉や治久ニ属

× 江戸や赤久ニ属

× 三毛や才七

× さうめや赤久ニ属

× 八百や九久ニ属

× まるや辰介

× 木ひや辰子

× さあめや与市

× なまや台久ニ属

× かなや三子ニ属

× けろや平八

伏見町中丁九郎

■ 小田原や又久ニ属

■ 龜甲や赤久八

■ 海つや清六

きくくくくく

あき

きくくくく



きくくくく

きくくくく

福山

きくくく

兵庫

玉屋

田中

きくく



稻荷社者

ふみやうだる

山田屋主之助

つとめ
おやえ

佐田屋主之助

つとめ
おやえ

佐田屋主之助

つとめ
おやえ

佐田屋主之助

つとめ
おやえ

佐田屋主之助

つとめ
おやえ

はや子

市野を四つちつ

かあつ
あうん
さうま

そあま
まろせ
つりよ

はや子

何よきや甚ちき

くろむら
せんろ
さくよ

さす

×

てきや佐平二

伏見町中よりみ

あけ

あむちや角々
はくちや長
あまや
あまのや

あひちや
あ田金
あやま

さうぬや
山金
あうん

あれちやうさすの

下

五

人

中一
りて
云け

下



徳吉
市の巻
やま
まのく

結孫益人

合掌の
とく
とく
とく

中

松臺

小式部
 小式部
 小式部

松本也徳子

[illegible]

張

いかにあはれ

かきや

△セミこの
△花かん
△みりり
△ほしり



△さろ
△まろ
△みよ
△ちろ

富士

△み
△玉
△花の
△る

きりや

△み
△ろ
△ろ
△ろ

上松屋

△さ
△ほ
△す
△さ
△さ
△さ

龜甲屋

△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ

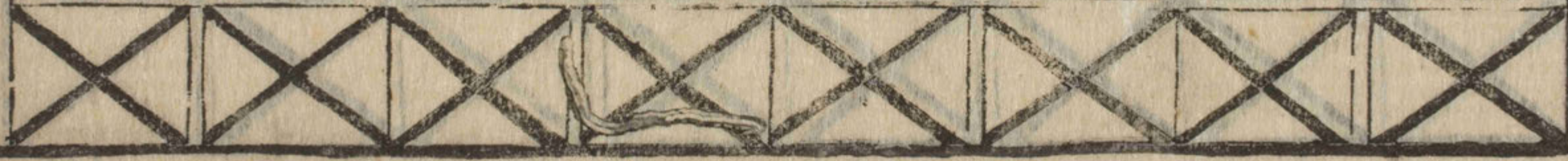
ふや

△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ

桐屋

△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ

△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ
△ろ



いんじんふくしやう



いんじん
ふくしやう
まふ

おろ

いんじん
ふくしやう
まふ

柏屋仁たろ

いんじん
ふくしやう
まふ

尾張屋ひたろ

いんじん
ふくしやう
まふ

いんじん
ふくしやう
まふ



何年五新八

おのゝえ

中
也
也
也

張

五

そのいせを

人々々々々々

へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ
へんあきぬ

疑

いねまろにうあろー 如部

いねまろにうあろー

たひやうん 六

皮のふや 孫介

そとや 彦三郎

虫や せうく

日 せいせう

あき

らや じんハ

やうきや 店ハ

ひくのや 三六

虫や 清六

せをさうふ丁

かろふー 十寸見らん

つ子 侍 智をひちろ

かろふー ちろ

ちろ ちろ

の

巴 金 浮 洛 布

つ子 玉 金 玉 金 洛 布

清をさ 清をさ

ちろふえ きんさん

ちろふえ

いねまろにうあろー

つる子 玉屋久き店

ふの井 ちゃんや ぶんよ
とろろの くらきあ

つる子 くら屋き店

まろやま くらじあ きききんね
あつろ くらきの こじんくの
あなろ くらきの うまのの
うと川 きききんね ちんて

めい

虫やくくき店

つる子 虫田金あき店

くらむの くらきの
くらかの くらきの

つる子 くらやみくら店

くらむ くらきん くらきん
くらむ くらきん くらきん
くらむ くらきん くらきん

せきやきき店

つる子 くらやき店

くらむ くらきん くらきん
くらむ くらきん くらきん

いん

いん

てうらんやひや久そふ
つひ 三門 屋 治 之 屋

きくあゝあゝあゝあゝあゝ
うらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうら

名をいんまきよ

はとやうり新丁す

是を世に流しにたて

さひや世に

てうらんやひや久そふ

ろ川 休るう

名を あじく 休るう

熱を流其外合

をま 九十目 産を持入

格子 六十目 産を持入

はんや合 合を六寸 因

日或は付合 合 ちや合

日或は合 商人 合

年々月次の日

正月。松の心七子。多ひすう十一日
十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

二月。さる年
十五日十六日十七日十八日十九日

三月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

四月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

五月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

六月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

七月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

八月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

九月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

十月。いのと
初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

十一月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

十二月。初日二日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

大正十一年九月廿九日

あさ

大津屋敷

あけやふ平二

長崎屋敷

あまや佐々木

市川屋敷

あや屋源次郎

柿屋敷

かきや徳次郎

あや屋敷

大いあや徳次郎

さくらや店七

あさ

のりや徳次郎

いーのや徳次郎

大つや店

あーのや長平二

大さや徳次郎

たち花や市三

ささや徳次郎

あさや利次郎

あさや徳次郎

墨田屋敷

あつや店七

あさや八

てんや徳次郎

あさ屋敷七

林屋敷

今戸移りおれん

あさや徳次郎

あさや徳次郎

あさや徳次郎

細見

新吉原本屋

此賣所

浅草

泉忠五郎

改正

伊勢

寺内

吉十郎

寶曆十三年

癸未

年每月大改元

元



屋

110X

668

154

39

